

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

※前続報で 8/7時点で複数前兆が継続していた場合は、8/9 ±の可能性は否定されることを報告していましたが、本日 8/7夕刻時点で前兆継続のため、8/9 ±発生の可能性は考えにくい状況となり、早い場合でも8/31 ±発生の可能性有と修正させて頂きました。下はNo.3118観測情報の一部を転載させて頂いたものです。

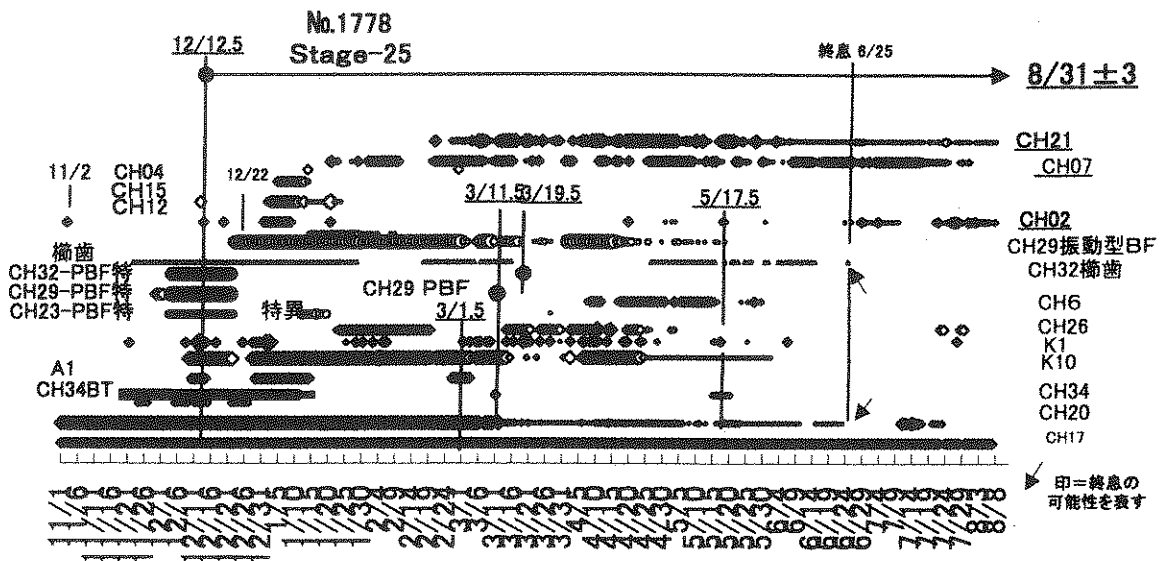
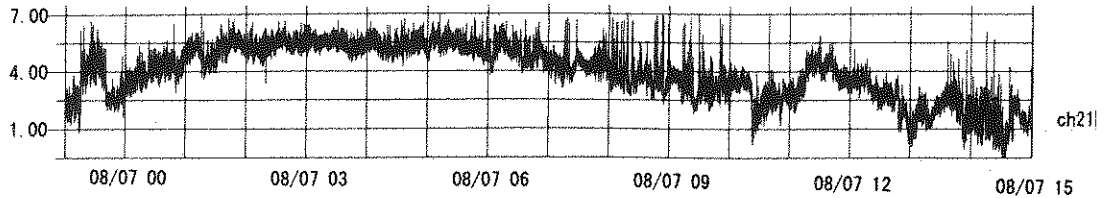
No.1778長期前兆 CH21・CH2 特異終息せず 8/31 ±の可能性に修正

長期前兆No.1778は、8月9日or 10日 ±発生の可能性が考えられましたが、CH2, CH21の特異前兆が8/7 夕刻になっても終息しません。

最近の小ピークの直前特異等の可能性など様々考えましたが、現時点で静穏化していない事実は、現在の推定に合わず、8/10 ±発生の可能性は少々考えにくい状況となりました。

No.1778前兆の第25ステージ (現在) で一番明確なピークは昨年の12月12日です。また幾つかの前兆終息が見えますが、複数前兆の終息 (CH20は終息後短期間出現しましたが) CH20, CH32 の前兆終息が6/25に認められますため、極大~静穏化の経

験測 $T_{map}:T_{pp}=3.9:1$ を使用して計算しますと、8月31日 ±発生の可能性が示唆されます。現在CH2, CH21の前兆が継続している事実から、8月10日 ±の可能性は考えにくく、早い場合でも8月31日 ±発生の可能性が示唆されると修正致します。もう少し早い時期に修正できれば良かったのですが、お許し下さい。



【No.1778前兆対応地震推定】

- ◆推定領域: 右図斜線域
- ◆推定規模: $M7.8 \pm 0.5$
- ◆推定時期: 早い場合
8月31日 ± 3
- ◇推定地震種: 震源浅い地殻
- ◇推定発生時刻:
午前9時30分 ± 1.5 時間
又は午後4時 ± 3時間

